

ふくしまの森林文化調査カード

No.42

県 HP公開の可否 (  可 ・ 否 )

区 分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野(ふりがな)	(分野) 農村歌舞伎の衣裳	(ふりがな) のうそんかぶきのいしょう	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	農村歌舞伎の衣裳		
伝承地域	南会津郡檜枝岐村		
由来(年代)	檜枝岐歌舞伎は、1693(元禄6)年頃、お伊勢参りに出かけた村人が江戸で習い覚えてきたのが根づいたといわれ、長い間、鎮守神祭礼の奉納芝居として受継がれてきた。		
内容	檜枝岐歌舞伎は、毎年、5月12日の愛宕神祭礼と8月18日の鎮守神祭礼には村人だけでつくる「千葉之家花駒座」の役者たちが舞台に立つ。また、9月の第1土曜日には「檜枝岐歌舞伎の夕べ」も開かれ、県内外から多くの観客が訪れる。県の重要無形民俗文化財に指定され、歌舞伎舞台(「檜枝岐の舞台」)も国の重要有形民俗文化財に指定されている。(民俗芸能資料展「ふくしまの農村歌舞伎と衣裳」より)		
大きさ・材質	(大きさ) —	(材質) —	
見頃	—		
交通アクセス	—		
文化財等の指定状況	檜枝岐歌舞伎(平成11年:県重要無形民俗文化財)		
問い合わせ先	福島県立博物館(Tel:0242-28-6000) 檜枝岐村教育委員会(Tel:0241-75-2342)		

【フリーフォーマット】

キーワード



すおうじ くもたてわく むかいらんまるもんよう もんおり かり  
ぎぬ

蘇芳地 雲立湧向鸞丸文様 紋織 狩衣



しろあさじ ごしょときもんよう めい きつけ

白麻地 御所解文様 續 着付

(写真提供: 檜枝岐村教育委員会)